



さとやま

今月の見どころ

木の実・草の実

前は里で見られる赤い実をご紹介しましたが、この季節、他にもいろいろな木・草の実が見つかります。



ムラサキシキブ



ヤブムラサキ



ユズリハ

ムラサキシキブは、美しい紫の実がなることで、庭木としてよく利用されています。里には、ムラサキシキブとよく似た実をつける、ヤブムラサキも見られます。ムラサキシキブに比べ、ヤブムラサキの葉は軟毛が密生していて触るとふわふわします。実は、固まった状態でつき、ヘタにも軟毛が生えていて、実を包むようになっていることで、見分けることができます。

春、枝先に新しい葉が出たあと前年の葉が落ちることから名が付いたユズリハは、その様子から家が代々続いていくように見立てて縁起物とされ、正月の飾りや庭木に使われます。雌雄異株で、雌株には黒っぽい実がつきます。

早春に、変わったにおいの花が咲いたヒサカキの雌株には、黒い小さな実がたくさん付きます。同じ枝にもう来春の花芽を見つけることもできます。

初夏に、プロペラのようなかわいい花を咲かせたテイカカズラは、実が熟し、二股に分かれた鞘がはじけて、中から綿毛のついた種子が風に乗って飛んでいきます。タンポポの種子に似ていますが、タンポポの綿毛は花のがくが変化したもので、テイカカズラのものは由来が違います。起源が違っているのに似たような形態や機能をもつ器官（鳥の翼と昆虫の翅）を「相似器官」といいますが進化の不思議を感じます。

アメリカイヌホオズキは、ほぼ1年中、条件が合えば花を咲かせ実がなりますが、秋から冬に一番多く見られます。イヌホオズキという在来種もあるのですが、繁殖力に押されてか全く見られません。在来種に比べ、花や種子が一点から出ているようにつくことや、実に光沢あることで見分けられます。

こんな木の实・草の実に目を向けて、里を散策してみませんか。



ヒサカキの実と春の花



テイカカズラの実



初夏の花

種子



アメリカイヌホオズキの花と実

工事をしています



この秋～冬も、小草池では耐震工事が行われています。そのため、里山エリアへの道が通行止めになっています。少し遠回りになってしまいますが、いつもは通らない道を歩くことで、新たな発見があるかもしれません。

11月の行事紹介



講座「拾って集めて工作」では、河江喜久代さんを講師に迎え、11月17日（日）に開催しました。

当日は陽気にも恵まれ、園内を散策しながら赤や黄色の木の实を拾い集め、UFOのカップをホールケーキに見立て、色々な木の实を使い飾りつけがとても楽しく、美味しそうなデコレーションケーキが作れました。“何か”子どもの頃に戻った楽しい一日でした。

12月の行事予定

- ・ 杉の枝でホワイトツリーを作ろうⅡ 12月 8日（日） 午前9:30 ～ 11:30
- ・ 正月飾りをつくろう 12月 22日（日） 午前9:30 ～ 11:30

1月の行事予定

- ・ お花炭を焼いてみよう 1月 19日（日） 午前9:30 ～ 11:30

※「杉の枝でホワイトツリーを作ろうⅡ」は、4/28 開催した「Ⅰ」に参加した方に限り受講できません。

※参加受付は、各行事 2 週間前の午前 8 時 30 分から先着順で来園・電話受付のみとなります。

◆12月28日（土）～1月4日（土）は休園日となります。

西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課